

ノリ養殖環境速報 KH-30-2 (播磨灘) 平成 30 年 11 月 13 日 発行

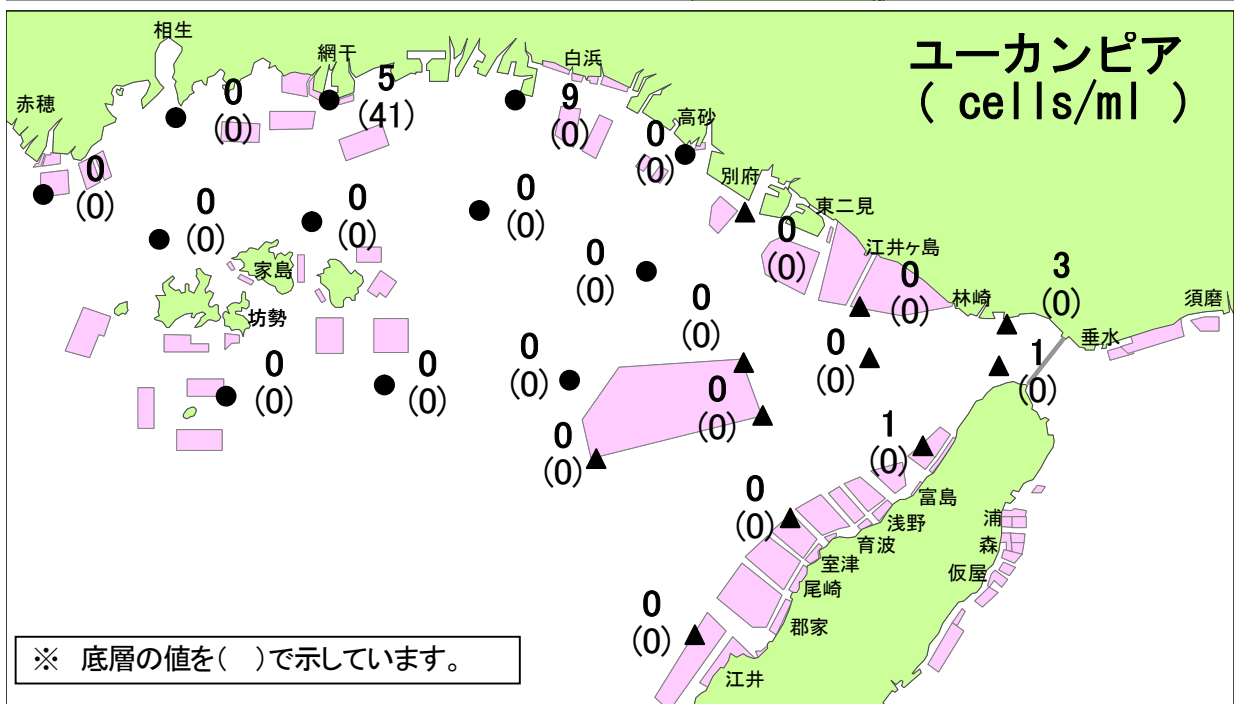
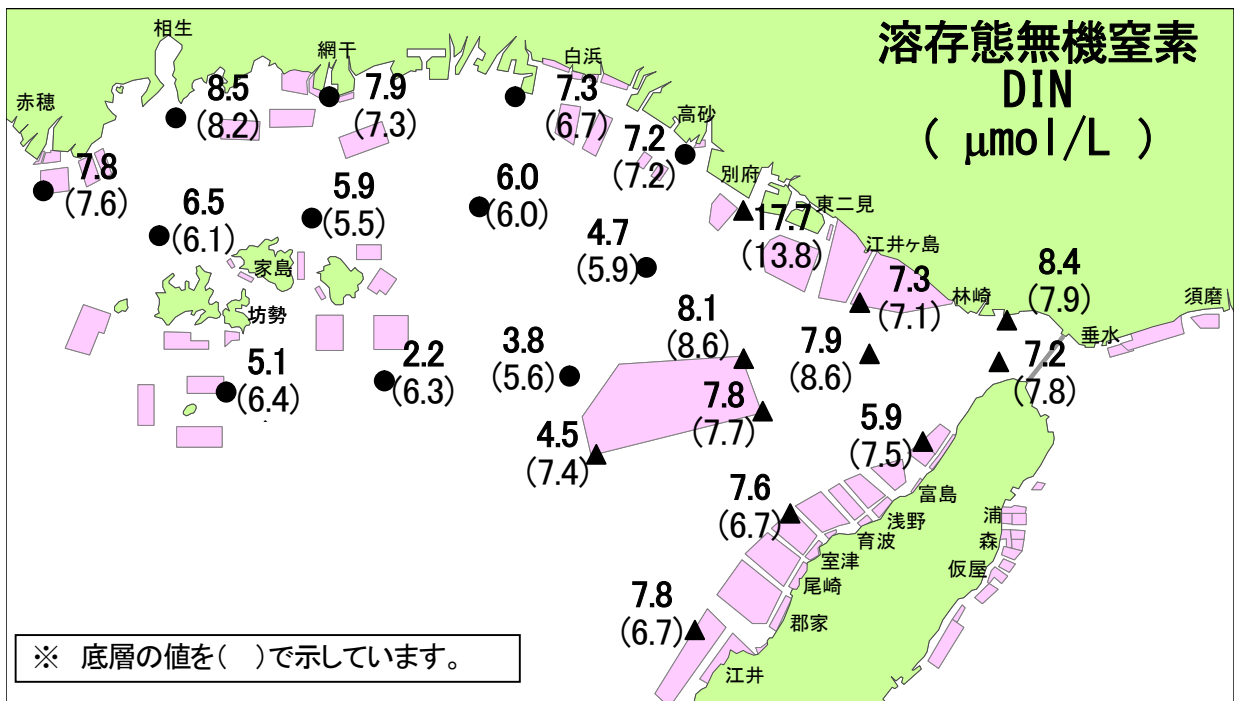
調査年月日：平成 30 年 11 月 12 日

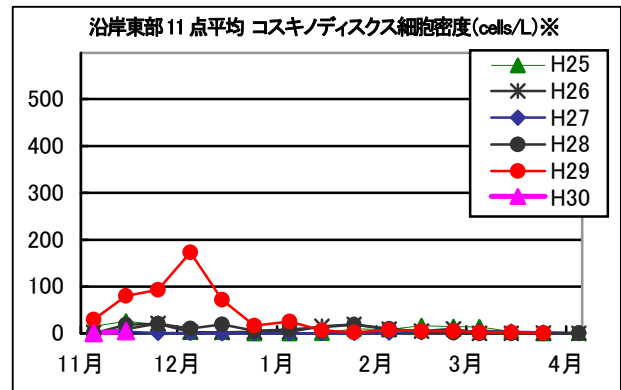
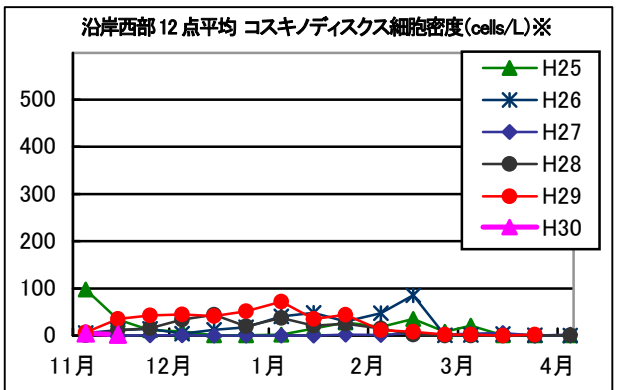
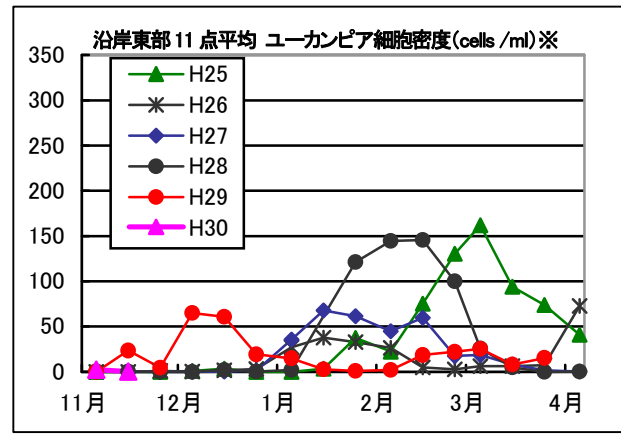
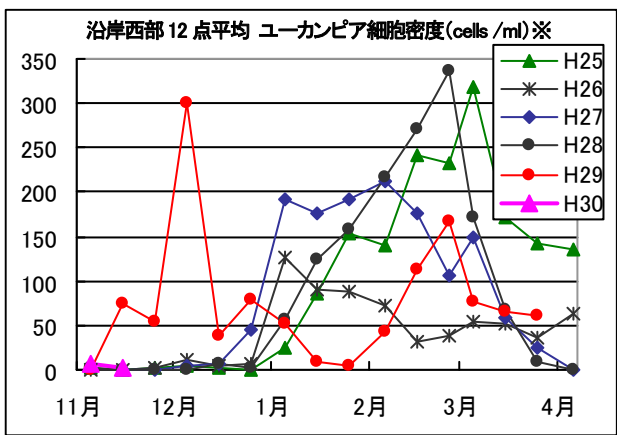
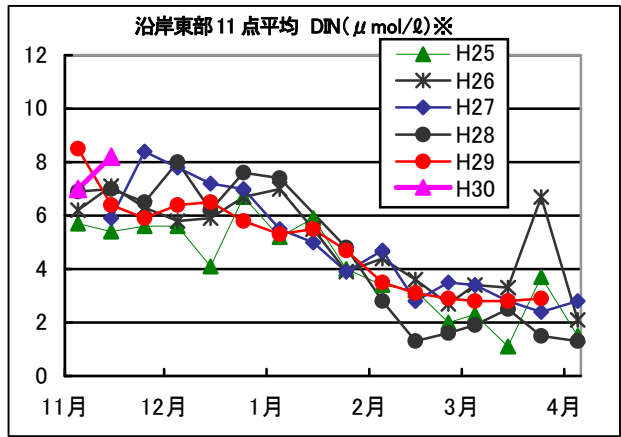
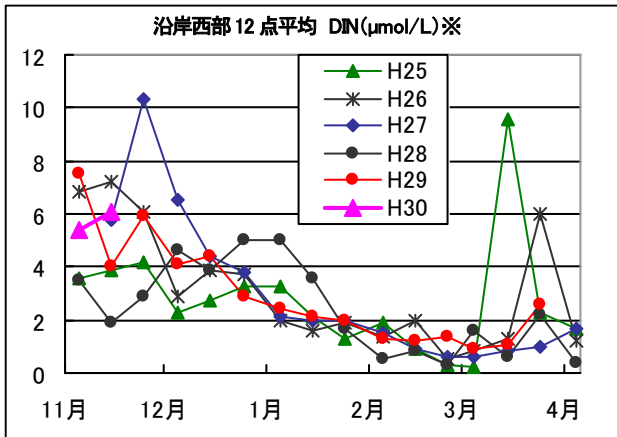
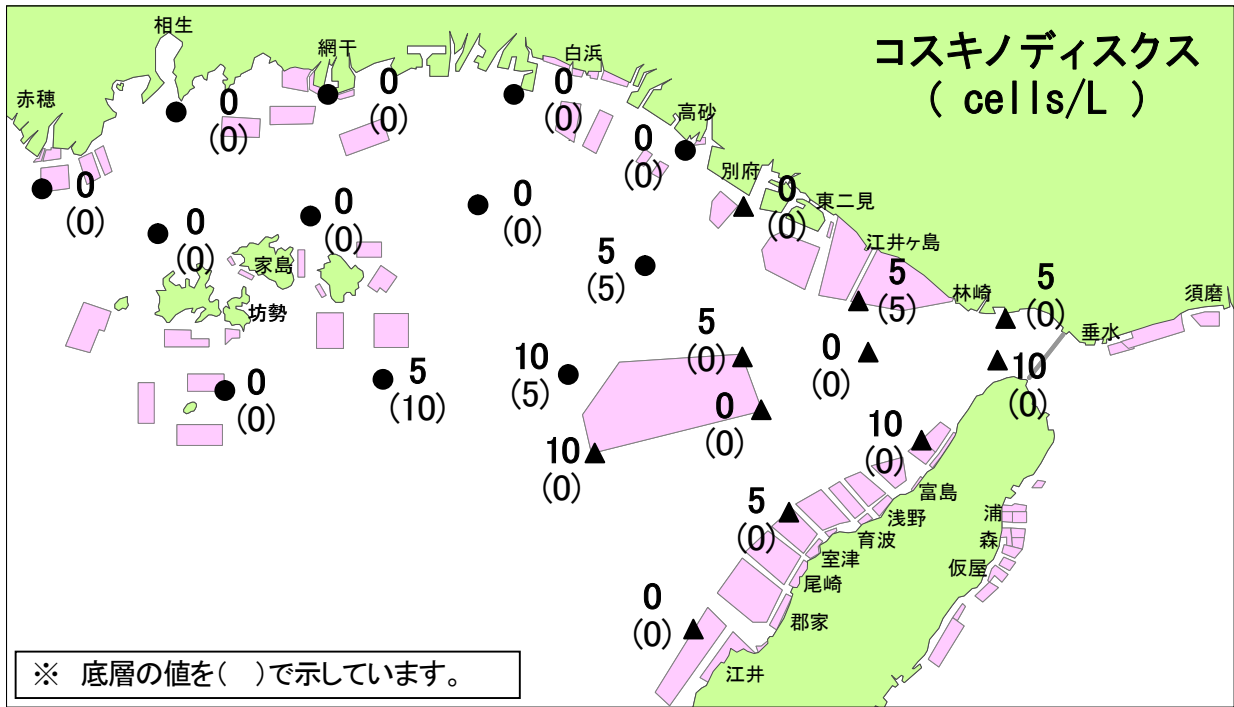
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘 (調査海域) の DIN 濃度は、5~9 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています (ただし、一部の表層海域では 2~3 $\mu\text{mol/L}$)。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーやユーカンピアは確認されていますが、数は少ない状況です。

水温は、白浜以西では 19.6~20.4 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では 20.1~20.5 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で 20.4~20.5 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では 20.4~20.5 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では 20.2~20.5 $^{\circ}\text{C}$ でした。

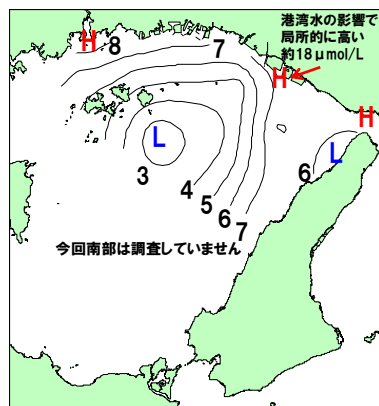




※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年11月12日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN, $\mu\text{mol/L}$)



ユーカンピア(cells/ml)



コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は概ね $5\sim 9\mu\text{mol/L}$ でした(ただし、表層では一部濃度が低い海域があります)。北部沿岸海域では多様な珪藻類が比較的多く発生しています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーやユーカンピアは、ごくわずかに確認されていますが、栄養塩濃度に影響を与える数ではありません。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか多いとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持～やや上昇傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 11月12日 16時33分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(11/13～11/19)の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。

最高気温は、期間のはじめは平年並で、その後は平年より高い見込みです。最低気温は、期間の前半はおおむね平年並ですが、期間の後半は平年より高く、平年よりかなり高い日もあるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(11/5)では、日生沿岸のDIN濃度(表層)は $9.4\sim 10.7\mu\text{mol/L}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは $0\sim 20\text{cells/L}$ 、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年11月22日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>